

令和3年度 第2号 (196号)

立ろうだより



令和3年5月6日 発行
東京都立立川ろう学校
校長 村野 一臣
〒190-0003
東京都立川市栄町1-15-7
電話042-523-1358
ファクシ042-523-6421



専攻科生の活躍 全国に手話動画



校長 村野 一臣

4月に新学期がスタートして、早1か月が経ちました。幼稚部1年生も給食が始まり、各学部で本格的な学習が始動しています。4月25日に3回目の緊急事態宣言が発令されました。学校は、臨時休業にはなりません、感染予防を徹底には、御家庭の協力が必須です。ご家族で体調不良の場合は、必ずお子様の様子を見ていただくため、学校はお休みをしてください。部活動は、原則中止となります。高体連等の大会がある場合は、部活動をする場合があります。休日も同様に、御家族の体調がすぐれない場合は、部活動を休ませていただくようお願いいたします。一人一人の行動とリスク軽減が、感染予防の最善の方法です。御理解と御協力をお願いします。

さて、本校の見える校内放送では、高等部生徒が制作した動画を掲載しています。小学部の子供たちもよく足をとめて、画面を見ている。本校は専攻科まである総合学園ですので、高等部のお兄さんやお姉さんがどんな勉強をしているのかを知る機会でもあります。まず知ること、憧れをもつことも進路指導の一つです。今、全国の学校では、コロナウイルス感染を防ぐため、本来は楽しい給食の時間におしゃべりがなくなってしまいました。そんな状態を改善できないか、「大分県別府市の小学校で、手話を使って給食の前後にちょっとしたあいさつを交わす取り組みを始めた」というニュースが今年の夏休み前にありました。このことに文部科学省も関心を寄せ、その後全国聾学校長会にろう学校の高等部の生徒が、「新型コロナウイルス感染症ため、会話できない給食時に楽しめる動画」というコンセプトで手話動画を制作してもらえないかという相談がありました。これを受け、東京の高等部設置校3校（立川、中央、葛飾）で制作を始めました。この度、3校それぞれ制作した動画23本（本校8本）が文部科学省の「子供の学び応援サイト」で公開されました。本校は、情報系の生徒が中心に多くの動画作品を制作し発表してきました。NHKのパブリカの放映なども専攻科生が中心に取り組んだものです。今回も、これまでの経験を生かし、絵コンテ作成から演出、撮影、編集までを全て生徒自身で相談して考えた作品となっています。専攻科では、依頼者（お客様）の依頼を受けて作品を作ることという授業もあり、今回のコンセプトも小学生に分かりやすく、また、楽しい手話動画となっています。ぜひ、一度視聴してみてください。本校の専攻科生の活躍が見られます。

【文科省HP：学習支援コンテンツポータルサイト（子供の学び応援サイト）】

https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/mext_00657.html

※文部科学省YouTube/mextchannelの項目があり、女の子の絵コンテンツをクリックして頂くとYouTubeへ繋がります。立川ろうの作品名：『食べもの手話クイズ』『もっとほしい・もっとへらして～お年玉編～』『もっとほしい・もっとへらして～からあげ編～』『気持ちをあらわす手話～まほう使い編～』『食器のなまえ』『食器のなまえ～お嬢様と執事編～』『気持ちをあらわす手話～学校生活編～』